

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 管理 運営用 )

## I 基本事項

		整理番号		1456	
事業名	文化体育館管理運営事業			予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 50 - 5077			項	保健体育費・6項
				目	文化体育館管理費・4目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり		
	まちづくりの目標		情熱と生きる喜びあふれるまち(生きがい)		
	施策目標		仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする		

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

施設 の 概 要	設置目的	対象(誰を・どのような状況の人を) 市民  意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 1. 市民の文化の高揚及びスポーツの振興を図り、市民の福祉を推進するため。 2. 市内外を問わず、施設の利用を促進し、市の活性化の一端を担う。																																																																																		
	施設内容	(敷地面積、延床面積、構造、収容人数、駐車台数、付属施設など)																																																																																		
		施設名称	南あわじ市文化体育館																																																																																	
		所在地	南あわじ市北阿万筒井1509-1																																																																																	
		設置年度	平成 12 年度																																																																																	
	稼動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>総事業費 2,489,655千円(用地費除く)</li> <li>収容人数 約288人~最高1,414人(使用状況によって約6通り可)</li> <li>敷地面積 185,000㎡</li> <li>駐車場 約500台</li> <li>施設 メインアリーナ 1,729.40㎡(バレーボールコート3面、バドミントン6面、バスケコート2面、テニスコート2面、卓球台27台、可動席288席または468席、スタッキングチェア420席、2階観覧席526席、可動ステージ、その他) サブアリーナ(バレーボール練習1面他) 会議室4室(各12人程度) 更衣室男女各2室</li> </ul>																																																																																		
		(施設の利用状況、稼動状況)																																																																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H15年度</th><th>366日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th><th>H16年度</th><th>365日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th><th>H17年度</th><th>365日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常日数</td><td>249日</td><td>309日</td><td>320日</td><td>通常日数</td><td>248日</td><td>308日</td><td>318日</td><td>通常日数</td><td>243日</td><td>308日</td><td>288日</td></tr> <tr> <td>休日日数</td><td>117日</td><td>57日</td><td>46日</td><td>休日日数</td><td>117日</td><td>57日</td><td>47日</td><td>休日日数</td><td>122日</td><td>57日</td><td>77日</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H18年度</th><th>365日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th><th>H19年度</th><th>366日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th><th>H20年度</th><th>365日</th><th>文体規則</th><th>実日数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常日数</td><td>245日</td><td>307日</td><td>298日</td><td>通常日数</td><td>248日</td><td>309日</td><td>未定</td><td>通常日数</td><td>246日</td><td>308日</td><td>未定</td></tr> <tr> <td>休日日数</td><td>120日</td><td>58日</td><td>67日</td><td>休日日数</td><td>118日</td><td>57日</td><td>未定</td><td>休日日数</td><td>119日</td><td>57日</td><td>未定</td></tr> </tbody> </table> <p>実日数は、特別事業や合宿受け入れなどの為多い。但し、H17~18は国体リハ-サル、本大会あり休館が多い</p>												H15年度	366日	文体規則	実日数	H16年度	365日	文体規則	実日数	H17年度	365日	文体規則	実日数	通常日数	249日	309日	320日	通常日数	248日	308日	318日	通常日数	243日	308日	288日	休日日数	117日	57日	46日	休日日数	117日	57日	47日	休日日数	122日	57日	77日	H18年度	365日	文体規則	実日数	H19年度	366日	文体規則	実日数	H20年度	365日	文体規則	実日数	通常日数	245日	307日	298日	通常日数	248日	309日	未定	通常日数	246日	308日	未定	休日日数	120日	58日	67日	休日日数	118日	57日	未定	休日日数	119日	57日
	H15年度	366日	文体規則	実日数	H16年度	365日	文体規則	実日数	H17年度	365日	文体規則	実日数																																																																								
	通常日数	249日	309日	320日	通常日数	248日	308日	318日	通常日数	243日	308日	288日																																																																								
休日日数	117日	57日	46日	休日日数	117日	57日	47日	休日日数	122日	57日	77日																																																																									
H18年度	365日	文体規則	実日数	H19年度	366日	文体規則	実日数	H20年度	365日	文体規則	実日数																																																																									
通常日数	245日	307日	298日	通常日数	248日	309日	未定	通常日数	246日	308日	未定																																																																									
休日日数	120日	58日	67日	休日日数	118日	57日	未定	休日日数	119日	57日	未定																																																																									
施設設置根拠法令等	南あわじ市スポーツセンター条例 平成17年1月11日 条例第89号																																																																																			
開館時間	午前 9 時 30 分 ~ 午後 9 時 00 分																																																																																			
休館日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 月 曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 祝祭日 (その他) 月曜祝日時は火曜休館、平日祝日はそのまま開館。合宿時は月曜も開館。																																																																																			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託																																																																																			
	委託団体	(株)オージスポーツ シルバー人材センター																																																																																		
委託内容	基礎トレーニングの講習、機器の使い方と健康維持管理の相談及びエアロビクスダンス、マーシャルエクササイズ指導。 施設内外清掃及び会場準備及び片付けと簡単な事務補助。																																																																																			

## Ⅲ Do (管理状況、使用料、投入資源等)

		(委託業種、作業内容、設備・備品内容、修繕内容など)					
管理手法		<p>委託契約内容にて年間計画後、毎月協議しながら実施。出退勤務は実施内容により異なるが、概ね・9:30～18:00・12:15～20:45・9:30～12:45・13:00～16:45の4タイプとしている。トレーニングルームの利用者講習会、エアロビクスダンス及びマーシャルエキサイト指導、来館時の日常トレーニングと健康管理指導等のトレーナー派遣。</p> <p>早出8:00～15:00 遅出14:00～21:00 (参考;正職員は、早出8:30～17:15 遅出12:15～21:00)を基本としている。フレックスタイム勤務の中で、その日の事業内容及び利用状況等に応じる必要があり、不規則出勤が多い。</p> <p>(設備・備品) 文化・スポーツ催しに関する設備・備品は、17年度でほぼ揃っている。しかし、開館から約8年が経過し、各設備及び備品の傷みが目立ってきている。また、空調、浄化槽、監視盤他、特殊な機器類が多く、全て建設時当時の業者しか触れない実態がある。</p> <p>(修繕関係) 開館8年経過で、今年度も照明系統を頻繁に取替えている。尚、内外部のヒビが目立ってきており、用地、特に建物付近の地盤沈下が多くみられるが、修繕にはまだ3～4年様子を見る方が良いかと考えている。また、18年度～19年度にかけ、メインアリーナ外部に敷き詰められていたグリ石等が危険なため除去したところ効果が現れている。</p>					
		施設管理従事職員	市職員	3人	委託団体職員	4人	合計
使用料等		<p><b>受益者負担について(料金体系、根拠法令など)</b></p> <p>・使用料(単位:千円)・H15年度 5,606          ・H16年度 5,808 (台風が多く大被害とキャンセルが相次ぐ)          ・H17年度 5,692 (国体リハーサル大会で約1ヶ月休館状態)          ・H18年度 5,552 (国体相撲会場で約1ヶ月休館)          ・H19年度 5,000 (見込み)</p> <p>南あわじ市スポーツセンター条例 平成17年1月11日 条例第89号          第8条 (使用料) 別表中 (5) 南あわじ市文化体育館使用料          南あわじ市スポーツセンター条例施行規則平成17年1月11日 教育委員会規則第29号          第9条 スポーツセンターのうち文化体育館の附属設備の種類及び使用料は、別表に定める。</p>					
		<p><b>減免措置(減免内容、根拠法令など)</b></p> <p>南あわじ市スポーツセンター条例第8条のとおりで、これらに該当なき時は、申合わせによって利用者負担としている。</p> <p>1. 市内に住所を有する者が、文化及びスポーツ活動の練習使用料は、料金表に掲げるそれぞれの額の2分の1の額とする。</p> <p>2. 文化イベント及びスポーツ大会等の準備又は片付けに使用する使用料は、料金表に掲げるそれぞれの額の2分の1の額とする。</p> <p>3. 使用超過時間は1時間以内とし、使用料の30%を加算する。</p> <p>4. 販売、宣伝等の営業行為に利用するときは、使用料の150%を加算する。</p> <p>5. 附属設備の使用料は、規則で定める。</p>					
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
資源配分 インプット	直接事業費 (千円)	37,085	31,966	37,830	34,237		
	賃金	2,442	0	0	5,917		
	需用費	13,408	10,970	14,576	13,437		
	役務費	403	609	694	735		
	委託料	18,371	18,589	20,693	12,377		
	使用料および賃借料	1,680	1,563	1,566	1,467		
	備品購入費	455	182	200	200		
	その他	326	53	101	104		
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	使用料	5,692	5,552	4,000	5,000		
	その他	175	337	175	450		
	一般財源[A]	31,218	26,077	33,655	28,787		
人件費(正規職員)[B] (千円)	19,525	18,359	18,933	21,500			
平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.6	34.9			
事業量1(事業に要した日数)	318	307	309	308			
事業量2(事業に要した人数)	2	2	2	2			
年間経費([A]+[B])	50,743	44,436	52,588	50,287			
経費に関する 補足説明							

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
設置目的達成度	成果指標目標値	人	36,653	35,000	35,000	35,000
	成果指標実績値	人	34,813	59,156	34,000	
	目標達成度	%	95.0	169.0	97.1	-
	成果指標	利用者	単位	人(見込み)		
	指標算出の考え方	利用者が多いことは、市民の文化の高揚及びスポーツの振興を図り、市民の福祉を増進、また、市の活性化に貢献できていると考えられる。				
(達成度の分析、問題点・課題などを記入。)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で1,400人収容可能施設は他になく、駐車場(約500台)も広い。しかし、H17~H18の国体関係で断った今までの継続利用者が多いため、終了後の利用者は予想通りの減少状態がみられる。来館者の顔ぶれも大きく変化しているように思われる。</li> <li>やはり公的行事が優先されすぎ、市内住民の利用には断りの機会が多い。</li> <li>市内外で使用料を分けているが、初使用から少し慣れなければ料金区分の判断が難しい。</li> <li>公的使用の減免料金が、予算化計上の関係から、各部署で一般利用にも影響がみられている。</li> <li>上記減免課題と併せ、他の利用客に影響をおよぼすキャンセル料徴収や休館日の課題も、市内関連施設個々に見直すのではなく、教育部全体で検討する必要がある。</li> <li>なお、当館のみでの現在の達成度では十分に活用できていると考える。</li> <li>H19年度は選挙開票所としての仮押さえ及び日程変更によるキャンセルのため4月、7月は他の利用者への影響が非常に大きかったのは今後の課題だと考える。</li> </ul>						
		(5点評価)				
		4				
効率性	年間経費	千円	50,743	44,436	52,588	50,287
	年間利用者数	人	34,813	59,156	35,000	35,000
	利用者1人当りコスト	千円	1.5	0.8	1.5	1.4
	延床面積	m <sup>2</sup>	5,753	5,753	5,753	5,753
	面積1m <sup>2</sup> 当りコスト	千円	8.8	7.7	9.1	8.7
	(施設の効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な文化行事がある場合でも、館職員準備 主催者準備・本番・片付け 館職員片付け、で最低3日間を費やし、通常多い文化行事では、最低4日間要するため、その間、他に使用ができなく、利用面での効率が非常に悪い</li> <li>その一方、経験の蓄積と連携により片付けに関しては少しずつ効率性は増していると考えられる。</li> <li>大きなイベント開催は同時期に集中する事が多々あり、別予約の日程変更や断りをせねばならず、効率性の悪化に輪をかけている。</li> <li>会場は広いが2会場(最高3会場)しかないことも影響が大きい。</li> <li>交通手段が車でないと難しい面があり、気軽に来館できるようにすることが課題である。</li> </ul>						
		(5点評価)				
		2				
必要性	行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共が設置すべきか、市民ニーズはあるかなどを分析、問題点・課題などを記入。)					
<p>国体による利用影響がでているものの、必要性について、今も市内ではスポーツ・文化両面とも好評で、公民館などホールの収容人員以上の催しに重宝されている。</p> <p>利用頻度の少ない15時~18時頃は、南淡中学校の第2体育館的にも使用されているが、広く市民に文化・スポーツ高揚促進するために設置されている。</p> <p>市内には多く宿泊施設もあり、協力しながら、市内外に関わらず島外からの来島者にも利用促進し、市の活性化の一躍を担える文化体育館に今後なるべきと運営している。反面、現状では、あまりに公的行事が優先され、市内外住民の利用制限の場面が多い。</p>						
		(5点評価)				
		4				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析					
	<p>国体リハーサル大会及び本大会に要した長期準備・片付けの休館期間の影響は、予想以上に大きく、終了後の沈静化が見られるが、市内外問わず文化行事、健康と体力づくりの場として、子供から高齢者の各種練習や催しの場として、多くの方々に親しまれながら利用されている施設と考えている。</p> <p>一方、利用時期が集中しやすい事と、文化事業となると、2時間程度の行事でも、準備・片付けを含めて最低3日間費やすため、評価グラフとおり効率性が非常に悪い。また、準備等にはそれなりの人員とかなりの重労働力が必要である。</p> <p>施設の現状は、建築物の傷みはまだ大丈夫としながらも、数多い特殊な照明関係や設備関係の傷みが見え始めている。なお、特に電気代に係るデマンド抑制には常に気配りし、開館当初10,800千円程から、H18年度8,500千円弱にするなど節電はしているが、利用者の使用方法にも大きく関係するため限界を感じている。</p>					
		<p>評価グラフ</p>				

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性及び具体的な改善案	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 現状維持
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し (下記の見直し内容にチェック)
	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し	<input type="checkbox"/> 人員配置の見直し <input type="checkbox"/> イベント等の見直し
	<input checked="" type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し	<input type="checkbox"/> 開館時間、休日等の見直し <input type="checkbox"/> 使用料の見直し
	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 指定管理者委託 <input type="checkbox"/> 民間譲渡
	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館時間は、トレーニングルーム他清掃、準備、片付けの関係から、現状9:30～21:00が望ましいと考えている。</li> <li>・現在サブアリーナ(バレーコート1面程度)に空調がなく、小規模集会120人程度の発表会や会議室としても、活用できるよう改善を望んでいる。</li> <li>・トレーニングルームと更衣室、大会議室の空調時も大きいボイラーを使用しなければならず無駄が多すぎる為、単独クーラー設置が理想的と思う。</li> <li>・市内でスポーツ、文化両面利用可能で、収容人数も800人超の施設がないと思われる為、市管理施設としておくべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来トレーニング器具交換時はリースによる設置が望ましい。</li> <li>・職員が全ての機器に精通していけるように、もっと研修会や意見交換を続けていき、蓄積させる。</li> </ul>
見直しにより期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブアリーナに空調設置することで、かなりの活用範囲が広がる。これまでの「展示販売会」や「女性の集い」的な催しも、空調がない為か、やはり減少傾向がみられる。</li> <li>・特に毎日空調が必要な狭い部屋のトレーニングルームと更衣室では、単独クーラーを設置することで、館にとってかなり経費節減につながると考える。</li> <li>・公的使用や義務教育事業関係、各種団体等にも14年度後半から、使用料の組織においての予算化を促しており、除々にではあるが効果は上がってきていると考えるが、まだまだ余地がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動席等、機器のエラー発生時に、以前は職員での対処が不可能な場合でも、職員で解決できるようになれば効率性は大幅に増えると考えられる。(現状でも効果は見られつつある)</li> <li>・今後とも、公的機関及び各種団体への使用料予算化について促していく。</li> </ul>
廃止・委託の影響	仮に施設を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	プラス面.....経費の節減 マイナス面...住民サービスへの一部低下、廃止の場合は、たまり場として使われ治安の悪化が懸念される。	
他の類似施設を持つ等	仮に外部委託した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	プラス面.....一企業として使用料など割り切った考えが通用すると思われるが、地元就業先増が若干見込まれるので、これまでの課題解消の良い機会。 マイナス面...現在の収支状況からみて、かなりの維持費補助が必要。利用時の住民負担がかなり増えると考えられる。	
他の類似施設を持つ等	洲本市文化体育館の利用者が増えている状況と聞いている中、お互い同時期に集中した予約が目立つため、最近では利用者の紹介や情報などを交換しあうことなども増えてきた。	